

## 随意契約をすることができる場合に該当することの説明書

地方自治法施行令第167条の2第1項第5号により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>緊急の必要により競争入札に付することができないとき。</p>	<p>1 競争入札に付していたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>下呂市萩原町中呂地内国道41号に設置されている固定式速度違反自動取締装置は、平成12年度に設置されてから20年以上経過し、老朽化により運用停止となっている。冬季になると装置上への積雪が多く、落雪による通行車両への危害が及ぶ可能性がある。</p> <p>また、本工事箇所周辺は、8月豪雨による道路倒壊に伴い、近接箇所交通安全施設が河川に流されたことによる復旧工事が進められているが、同装置設置箇所は近接しており、今後、大雨の被害等により倒壊等が危惧され、交通安全上、危険な状態となっているため、早急に撤去する必要がある。</p> <p>そのため、競争入札に付していたのでは必要な工期を確保できず、時期を失してしまうことから、随意契約により速やかに相手方を決定するもの。</p> <p>2 見積を徴した事業者の概要</p> <p>二者は、過去に岐阜県警察本部の信号機工事を受注した実績があり、施工実績が良好で、迅速な対応が期待できる。また高山市に本店があり、資材の運搬、作業員の往復などが容易に行えるなど施工体制が十分であると考えられることから選定するもの。</p> <p>3 見積合せをしていたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>4 特定の者を選定した理由</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。